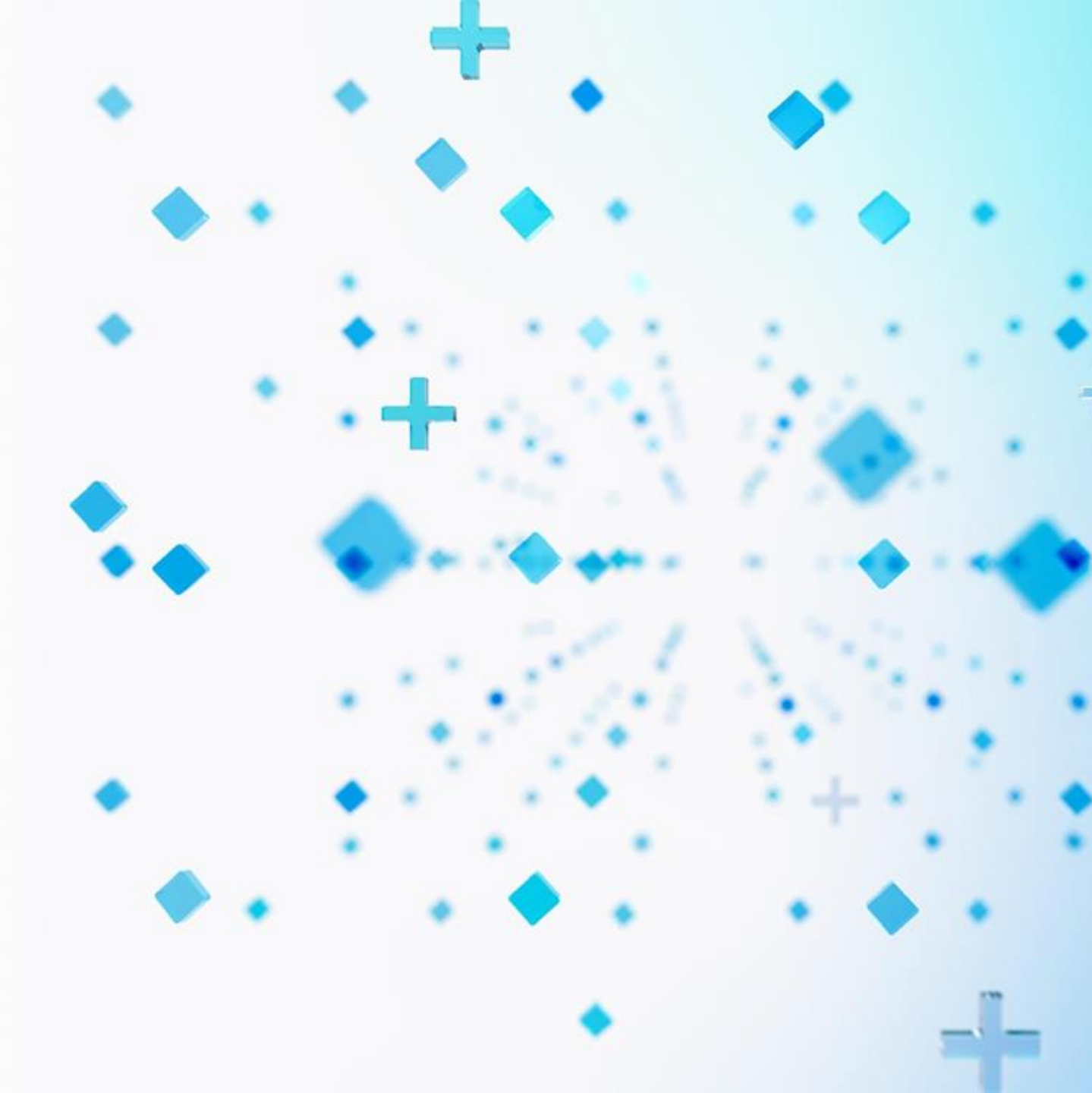


HCLSoftware

Notes/Dominoと AI時代の企業利用

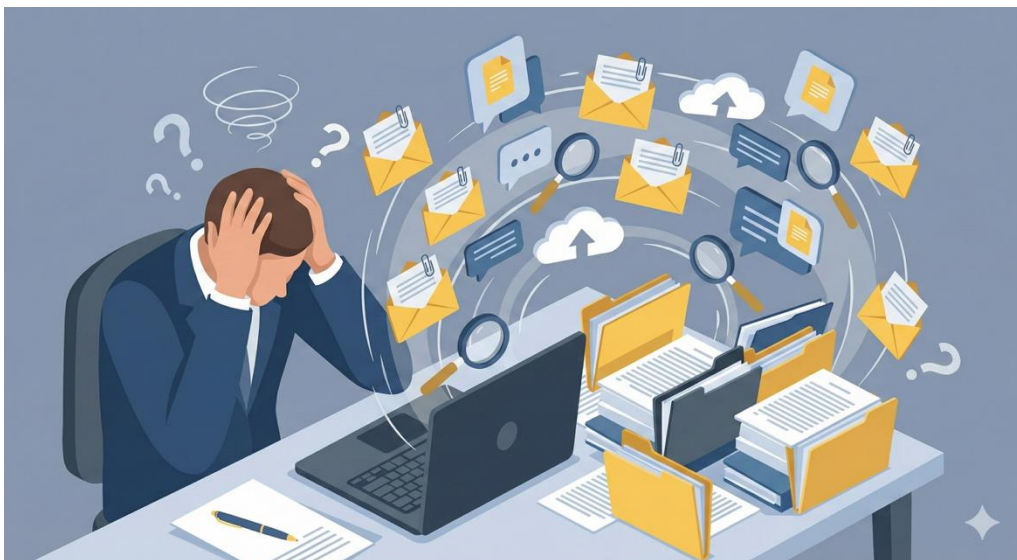
HCLSoftware

臼井 修



◆ こんな状態になっていませんか？

色々な SaaS やソフトウェアを導入して「標準化」を進めているのに…



- ✓ メールやチャットにファイルを添付して進めている業務が多い
- ✓ 過去の経緯やファイルを頻繁に検索している
- ✓ 他のメンバーとの情報共有のために過去のメールを繰り返し転送している

SaaS やパッケージ化されたソフトウェアによる「標準化」から取り残されている「組織固有の業務」こそ企業の競争力の源泉です

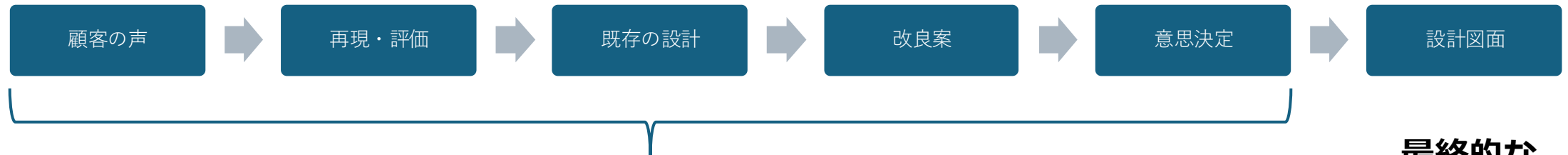
◆ 「組織固有の判断とノウハウ」とは？

例えば、「顧客からのクレームに対応した設計の改良」。

ここで重要なのは、最後に完成した「設計図面」だけではありません。

顧客の生の声、社内での再現や評価、既存の設計に存在した意図と想定された複数の改良案、最終的な決定の根拠。そのすべてが企業のナレッジです。

お客様の組織では、競争力の源泉であるこのナレッジを蓄積、活用できていますか？



ナレッジ = 「組織固有の判断とノウハウ」

**最終的な
成果物**

◆ 「標準化可能な業務」と「自社固有の業務」の違い

多くの企業で「紙のまま」や「ファイルをメールに添付して進めている」ような業務こそ企業固有の「ナレッジ」であり、HCL Domino の得意分野です

	標準化可能な業務	自社固有の業務
業務の特徴	• 手順がきまっている • 固有の情報や経緯はない/限られる = 決まっている通りに実施する業務	• 手順に対する「例外」が多く発生する • 個別に発生する関連情報や経緯の蓄積が重要 = 決めた経緯を残す業務
データの種類	定型データ(データベース、レコード的)	非定型データ、文書型データ (テキスト、添付、画像などを含む)
データの活用	定量データ、数値データとして集計・分析	「自社固有の業務ナレッジ」として活用
ITで追求するべき方向	「自動化」、「効率化」、「高速化」	「最適な担当者による判断」、「経緯・関連情報の蓄積」、「ナレッジとしての再利用」
例	• 人事・総務形WF (経費精算、出退勤管理) • 購買・発注プロセス	• 顧客からのクレームに対応した設計の改良 • 新規店舗出店プロセス

SaaS、パッケージが向いている業務

HCL Domino が向いている業務

◆ HCL Domino で「組織固有の判断とノウハウ」を活用

HCL Domino は業務にあったフロントエンドを構築し、プロセスの中で発生する「テキスト」「文書」「画像」などの「非定型情報」を蓄積できる「文書型データベース」。

高度なアクセス制御とセキュリティの下で、企業のナレッジをPC/モバイルアプリ、他システム/AI 連携で活用できます。



◆ HCL Domino の特長

非定型情報の蓄積

ナレッジの蓄積や共有に最適な文書型データベース

- 表現力に優れ作成が容易なリッチテキスト
- 自由なファイルや画像の添付

他システム連携とワークフロー

フィールド単位でのマッピングから REST API まで、連携先を限定しないオープン性

- データ連携ツールを標準で搭載 (HEI)
- REST API によるデータ利用

高度なセキュリティとアクセス制御

データベース、文書、段落、フィールドなどの各レベルでの参照や編集を高度に制御

- 認証に基づくアクセス制御
- 状態に応じたアクセスや表示の制御

PC / モバイルクライアント

オフラインでの利用にも対応できる高機能なネイティブアプリ

- スマホ、ブラウザ、PC のネイティブアプリ
- アプリストアへの申請・登録不要

柔軟な導入形態

社内IT標準に応じた自由な構成とユーザー単位ライセンスでの制限のない活用

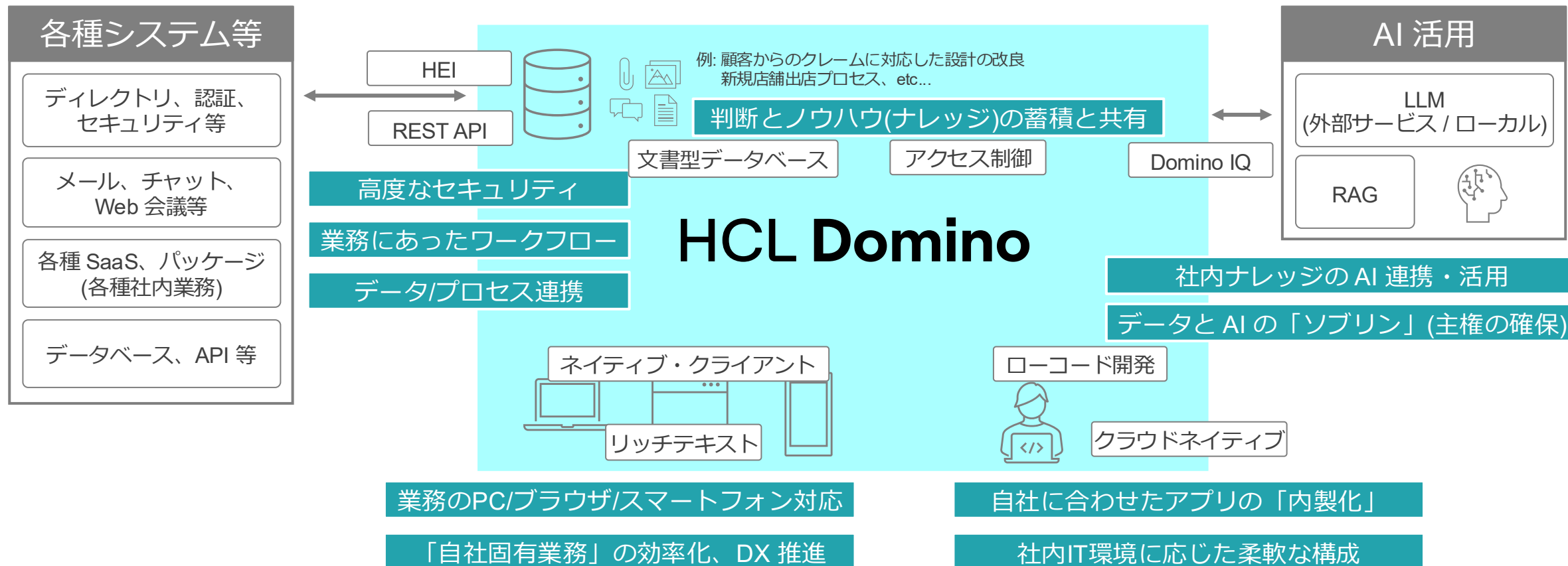
- オンプレミス/コンテナ/ IaaS に自由に構築
- 制約のないユーザー単位ライセンス

AI 連携・活用

自社内のローカル LLM の利用も可能な AI 連携機能とアクセス制御に対応した RAG

- ローカル LLM の内蔵やアクセスが可能
- 自社内のナレッジを RAG で AI に連携

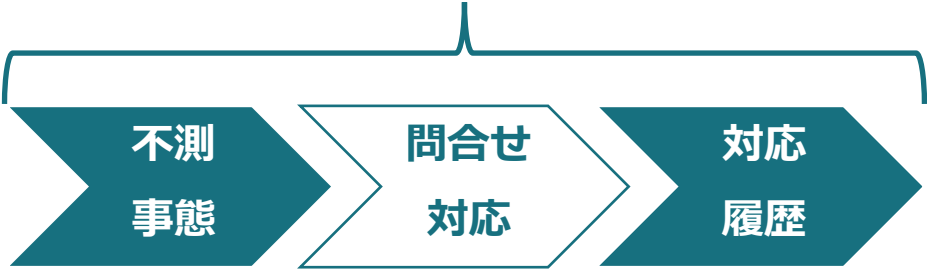
◆ HCL Domino で「自社固有の業務」のDXを実現し競争力に変革



◆ 現場の業務はPC / モバイル単体では成立しない

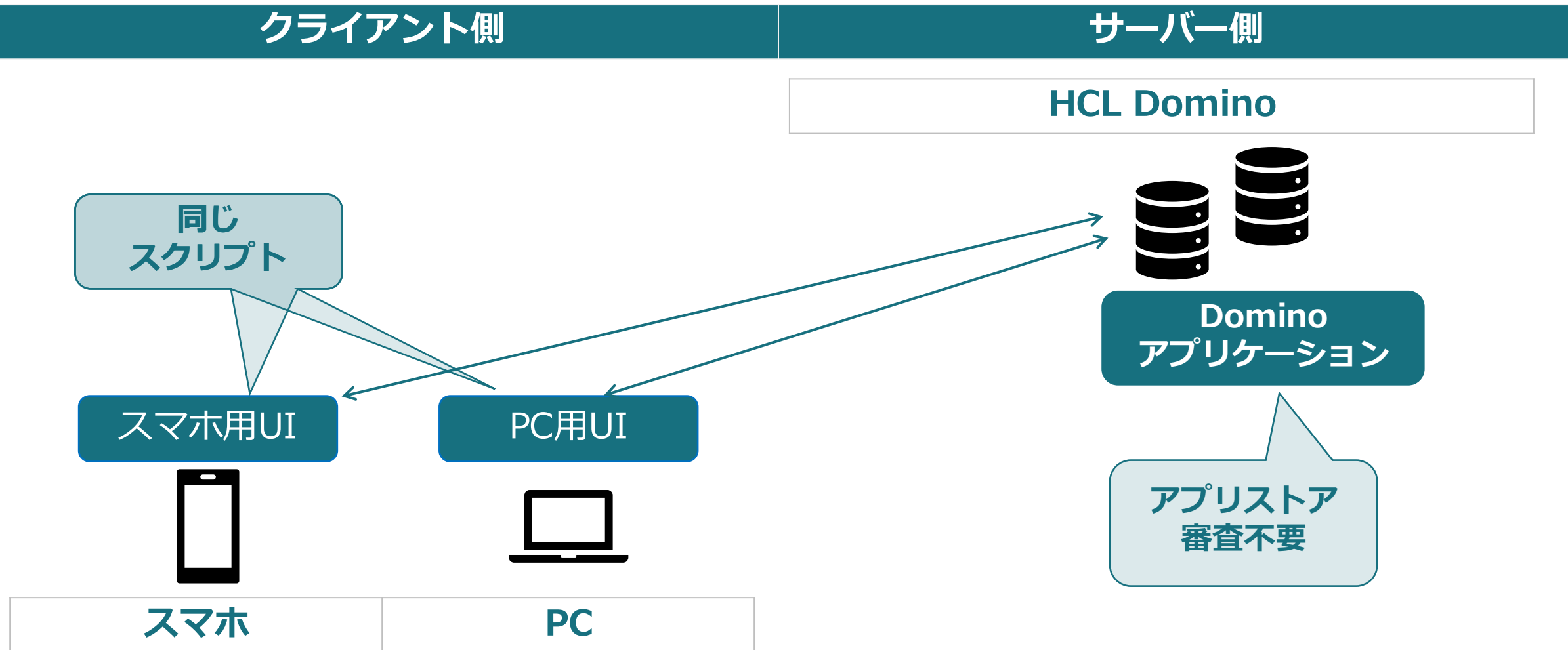


管理部門 PC業務	○			○			○	
システム 連携		○						○
現地対応 モバイル			○		○	○		



管理部門 PC業務		○	
現地対応 モバイル	○		○

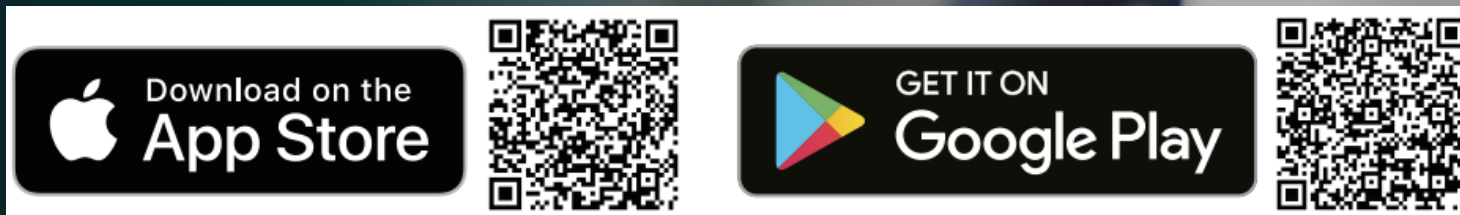
◆ HCL Domino + Notes & Nomad ならば、 PCとモバイルでデータを共有・同じスクリプトが動作



HCL Nomad Mobile

カスタム開発のDomino アプリが
モバイルで動く！
Android / iPhone / iPad 向けストアアプリ

- 使用権はCCBライセンスに同梱
- アプリストアの審査不要
- Face IDや指紋認証、GPS、カメラ、ストレージなど、デバイスの機能も活用
- カスタム開発のスクリプトも、モバイルで駆動
- 嬉しいオフライン機能も



現場での確認作業は

- 自分に必要なもののみを表示
- シンプルなUI

スマホの機能をフル活用して

- バーコード
- 写真撮影





15:07

✕

閉じる

保存

Wash and Clean (2025/05:時点)

資産名

Wash and Clean

画像

WashCleanSmall.jpg

数量

1

変更は、資産マスタに反映されます

保管場所

倉庫

変更は、資産マスタに反映されます

廃棄日

変更は、資産マスタに反映されます

コメント

☒

完了

棚卸

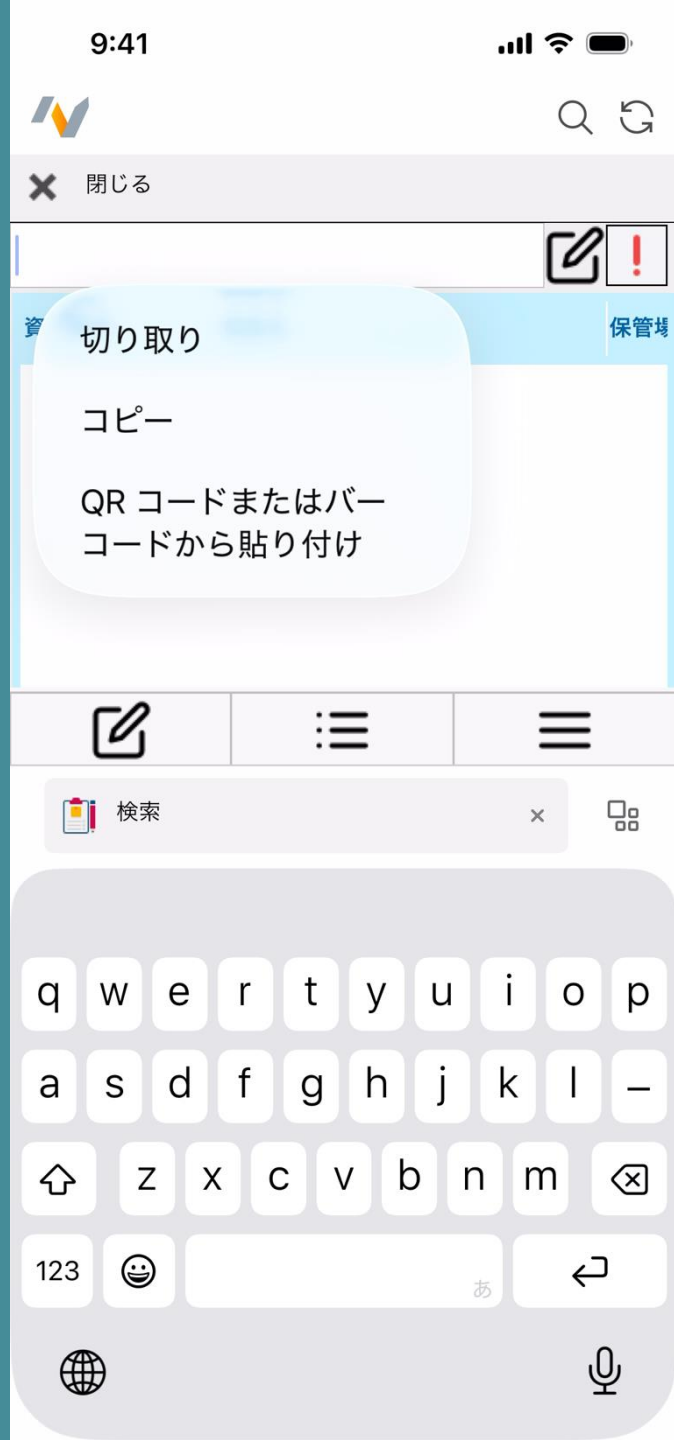
×

イレギュラー事態発生 (知らないものがある)

- 担当者に確認（電話など）

スマホの機能をフル活用して

- GPS
- 地図



通信障害などが発生

- ・ オフラインでの利用
(禁止することも可)



NomadAsset									
資産マスタ	新規作成 ① 棚卸開始 ② 依頼メール ③ 棚卸完了								
	管理部署	資産番号	資産名	分類	保管場所	数量	取得日	耐用年数	
管理部署	3 ▼ Field Service								
		4580491834002	防災用ヘルメット	作業用機器	倉庫	2	2024/05/01	4	
		4977938102488	Wash and Clean	作業用機器	倉庫	1	2023/04/01	3	
		4987010141564	消毒液	消耗品	六本木オフィス	1	2025/01/01		
	3 ▼ 営業部								
		4905946000014	桔梗信玄餅	消耗品	各自	1	2025/04/01	1	
		4946842501908	ミンティア	消耗品	各自	1	2025/05/01	1	
		9784062776288	新参者	書籍	本棚	1	2025/04/01		
	3 ▼ 品質管理								
		0001	MacBook	PC	各自	1	2025/05/01	1	
資産番号順		21726028	Display Monitor	周辺機器	六本木オフィス	1	2023/04/01	5	
		5064R040011952	固定電話	周辺機器	六本木オフィス	1	2022/01/04	7	

PCは管理業務でデータを活用

HCLSoftware

HCL Domino と AI

- ① Notes をインターフェイスに生成AIを活用
- ② REST API により、外部AIから Dominoデータを活用
- ③ REST API により、外部AIからリアルタイムにDominoアプリを活用
- ④ Domino IQ により、Domino内でAIを活用
- ⑤ AI によるDomino アプリ開発（将来像）



①Notesをインターフェイスに生成AIを活用（鳥取県事例）

事例紹介・鳥取県庁

Fueling the Digital+ Economy

ADVERTISEMENT
広告

「デジタル先進県」がDXで成果を生み出し続けている理由 ポイントはデザイン思考の企画力とアジャイル開発

全国の自治体からDXの先進的な取り組みが目まぐるしく注目を浴びている鳥取県。同県の取り組みの中でも注目されるのが、システムの多くを内製化していることだ。現場の職員の参画を促す企画力と合わせて、DX実現を目指す一般企業にも参考になる点が多々ある。この内製化を支えているのが、HCLSoftwareの「Notes/Domino」だ。新型コロナウイルス感染症への対応や生成AIの活用などの事例を追いながら、DX成功の要因を探ってみる。



鳥取県

中国地方の北東部に位置し、東西約120km、南北約20～50kmと東西にやや細長い。北は日本海に面し、南は大山をはじめとする中国山地で他県と接している。面積3507km²、約54万人（2023年8月）と日本で一番人口の少ない都道府県ではあるが、平井伸治知事のもと、行政事務、農業・観光・産業・医療福祉、防災などあらゆる分野でデジタルを積極的に政策に活用している。

徹底した内製化によって 県民サービスの向上を実現

鳥取県は日本で一番人口の少ない県である。しかもその数は年々減少しており、第1次産業をはじめ後継者難という問題にも直面している。いわば、少子高齢化が急激に進む日本社会の縮図ともいえる。鳥取県はそうした課題の解決に平井伸治知事が先頭に立って積極的に取り組んでおり、各自治体から注目を集める事例も多い。

取り組みの大きなエンジンの1つとなっているのがデジタル推進だ。鳥取県のデジタル分野の取り組みはこれまであまりメディアなどで取り上げられてこなかったが、今回の取材で非常にユニークかつ偉大なDXを推進しているDX先進県であることが分かった。2019年度には全国知事会が主催する「先進政策創造会議」で、同県の教育DXの取り組みが「先進政策大賞（全国1位）」を受賞したこともその1つだ。約15年にわたる現場を牽引してきたキーパーソンである鳥取県の下田 耕作氏はこう説明する。

「鳥取県のDXは、「地域DX」と「県庁

DX」の2本柱で進めています。地域DXは、中山間地問題、農林水産や産業、観光の振興、医療福祉、防災などにデジタルを活用するものです。例えば1例が、デジタル技術を活用し、行政窓口サービスを中山間地の公民館などに派遣し、移動が困難な高齢者らに現地で行政サービスを提供するコネクテッドカーの取り組みです。その他、ドローン空撮画像の解析による収獲時期予測などのスマート農業、観光や地域交通機関など幅広い分野で活動が進行中です」

一方の県庁DXでは、「デジタル技術×BPR」で県職員の業務効率化を推進し、県民サービス向上につなげることが目指している。効率化や自動化によ



鳥取県政策戦略本部
デジタル局長
下田 耕作氏

り、行政サービスの質やスピード化を向上させるだけでなく、デジタルで生み出した時間を、人（職員）でないとできない創造性が必要な業務や他者との円滑な調整の時間、チャレンジングな企画を考える時間に活用することを促している。

「今後も社会情勢は急速に変化し続けます。新型コロナウイルスのような感染症パンデミック、大規模自然災害発生などのリスクは常に意識しなければならぬ時代です。限られたリソースの中で多種多様な課題に迅速に対応するには、行政においてもデジタル技術の有効活用が重要で」と下田氏は説明する。

鳥取県庁でのデジタル活用の初期段階から基幹システムの1つとしてフル活用されているのが、HCLSoftwareの「Notes/Domino」である。ユーザー数は約7000、稼働中のデータベース数は1万2000に達する。図1は、これまでNotes/Dominoを活用して開発した主なシステムである。「予算要求や電子決裁、文書管理、旅費、人事などのシステムはすべてNotes/Dominoです。県庁業務のプラットフォームとして徹底的に活用しています」と下田氏は言う。

「鳥取県では職員がシステムをつくり、職員が運用するという文化を定着させてきました。また、それができるとICTのツールや基盤などを選んできました。Notes/Dominoもその1つです。Notes/Dominoは職員が使える開発数多くのローコードからデジタル局のメンバーが使うスクリプトやHTML、Javaなどのプロコードまで幅広く対

事例紹介・鳥取県庁

Fueling the Digital+ Economy

ADVERTISEMENT
広告

図1 鳥取県庁におけるNotes/Dominoの活用例

公文書管理システム	施行された文書はすべてNotesでアーカイブ、過去記載した文書の再利用で業務効率向上
電子決裁システム	紙書から決裁まですべてNotesで管理。財務システムとも連携
予算要求システム	各課の予算要求から財政課査定まですべてNotesで管理。内容は査定前段階からWebで公開
人事関係各種システム	入退庁（出勤）、身上報告、キャリア開発シート、人事異動希望照会、請求書検印など
旅費システム	申請から決裁まですべてNotesで管理。「駅すばい」の機能を取り込み、旅費を自動計算
事例引継ぎシステム	職員は普段から業務内容をDominoでマニュアル化。引き継ぎ時に資料を作成する必要があるが、その他に、会議室などの各種予約・発着文書データベース・電子会議室などでもNotes/Dominoを活用

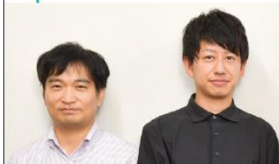
電子決裁システム、公文書管理システムなど、鳥取県庁ではあらゆる部門でNotes/Dominoを活用している

応できる柔軟性があります。この特性を活かして様々なシステムをアジャイル開発することができます。文書をそのままWeb公開できるのも魅力です。本県にとってNotes/Dominoは、デザイン思考の多様な業務ニーズに、時間やコストをかけずにアジャイルで応えることができるオールインワンのDXプラットフォームです」と下田氏。

「システム開発はICTベンダーに任せ切り」というのは、官民問わずよく見られる光景だろう。鳥取県の場合は超高度なものを除き職員が開発を行っている。職員向けにNotesのシステム開発講習会や相談会を毎年開催するなど、内製能力の開発を早い時期から進めてきたことで、迅速なサービスの開発・展開、県民ニーズへのきめ細かな対応などが可能になった。以下に紹介するのは約7000、稼働中のデータベース数は1万2000に達する。図1は、これまでNotes/Dominoを活用して開発した主なシステムである。「予算要求や電子決裁、文書管理、旅費、人事などのシステムはすべてNotes/Dominoです。県庁業務のプラットフォームとして徹底的に活用しています」と下田氏は言う。

新型コロナウイルス対策に活用 効率化とサービスの質向上を実現

最初の事例は、2022年夏の「新型



左から新型コロナウイルス対策チームに参加したデジタル局デジタル改革課課長の中村 慶彦氏、同デジタル改革課課長DX推進担当部長の福安 洋介氏

コロナ感染症第7波」への対応だ。県内で感染が拡大する中、全部局に動員がかかり職員総出で陽性者への電話聞き取り調査を行った。電話しながら40～50ほどの質問項目を埋めていくというもので、1件当たり30分程度かかっていた。手書きされた文書はPDF化し、Notes/Dominoに格納。その後、データ化するために手入力する。こうしたアナログな業務には「デジタル技術×BPR」が有効であり、職員や県民の負担軽減が可能となると考えた下田氏はコロナ対策本部に「陽性者自身によるスマートフォン利用」を提案。すぐさま課内に新型コロナウイルス対策チームを編成し、自らもアジャイル開発に参加した。

システム開発を担当した新型コロナウイルス対策チームの1人、中村 慶彦氏は「8月に開発を進め、9月2日にシステムが稼働しました。開発を担当したのはデジタル局の6人で、開発期間は2、3週間程度です」と話す。同チームの中尾 誠治氏は「陽性者の方々に使ってもらうシステムなので、できるだけ負担を軽減できるよう、自由記述ではなく、選択式の回答欄を増やすなどの工夫をしました」と振り返る。

スマートフォンへの入力フォーム開発には、電子申請システムが活用された。陽性者はインターネットを使って自身の状況を登録する。そのデータをRPAが自動的にNotes/Dominoに取り込むという仕組みだ。これらの開発はすべて内製である。Notes/Domino、RPA、電子申請とともに既存環境内で構築したため追加コストはく、スキル

の高い職員が取り組んだことで開発期間も短く済んだ。

結果的に、スマホ入力された情報について県庁側で入力する手間はなくなくなり、迅速な集計や分析ができるようになった。県民への周知が進んだこともあり、やがて陽性者の約8割がスマホから入力するようになり、運動するシステムが効果的に機能していった。

「電話での聞き取り業務が減ったので、通常業務に戻れると他部門の同僚も喜んでいました。また、当初はPDFを見ながらバラスオキシメーターの送付手配や、家族や接点者の感染履歴を追跡する業務フローだったのですが、情報をデータで扱えるようになったことで確認作業の効率も大幅に向上しました」と同チームの福安 洋介氏は語る。

守るべきルールと環境を整えた上で 「生成AI」を県庁業務に導入

もう1つの事例は、生成AIの活用である。鳥取県は2023年2月、生成AIの活用に向けChatGPTチームを設置。生成AIをめぐっては、機密情報が漏洩するなどのリスクもあるため、8月に活用ガイドラインと利用環境を整備した。「行政機関として、信用失墜につながるようなことは避けなければなりません。特に、生成AIに入力したプロンプト情報がAI学習に利用され2次利用されるリスクへの対応は、体系的な制御が必要です。また、利用者や利用目的、利用状況を管理し、適切な利用を担保する仕組みも欠かせません」と下田氏は言う。

生成AIのエンジン部分にマイクロソフトの「AzureOpenAI」を採用したこのシステム構築プロジェクトのボイロンは、フロントUI側のNotesと生成AIの連携だった（図2）。

「Notesを活用することで、ユーザーは普段使い慣れた画面で生成AIの操作ができます。管理者にとっても同様です。利用ユーザーを許可制にするためにアクセス制御を行っています。

生成AIとのやり取りはNotes文書として保管することにより、再利用や監査が簡単に行えています」とChatGPTチームの西古 敦洋氏は説明する。

アーキテクチャー設計に1カ月ほどを要したが、正味の開発期間は2週間程度だった。2つのシステムをつなぐAPI連携サーバーの開発に関しては、こちらのチームにも加わった中尾氏と西古氏の2人が主となり外部のベンダーに頼らずやり遂げた。現時点の県庁生成AIシステムの利用は約600件。最初に説明会を行った程度で、特別なトレーニングを開いたわけではない。簡単に使えるのが県庁生成AIの特長だ。

Notes/Dominoの特性を熟知するChatGPTチームは、この県庁生成AI



ChatGPTチームの主要メンバー。左から、デジタル局デジタル改革課県庁DX推進担当課長補佐の西古敦洋氏、下田氏、デジタル局デジタル改革課課長DX推進担当部長の中尾 誠治氏

システム開発でも、アーキテクチャー設計段階からNotes/Dominoの活用を前提に検討したという。利用者だけでなく、その内容までも記録し監査できるように、利用状況を管理し、適切な利用を担保する仕組みも欠かせません」と下田氏は言う。

現場や関係者を巻き込む工夫と
成果の積み重ねがDX成功のカギ

Notes/Dominoの活用を通じて成果を上げている鳥取県のDXだが、も

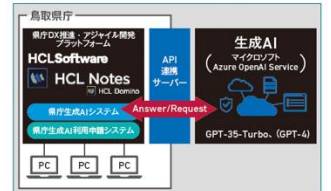
しろツールへの導入だけでは十分な成果は期待できない。業務改革をセットで行うことで、効果を最大化している。新型コロナウイルスへの対応はその好例だろう。ただ、民間企業を含めて、組織には大なり小なり「現状を変えること」への抵抗感があるものだ。「いまの業務が最適」という見方もあれば、単に「変えるのは面倒」という意識もあるだろう。

「DXのアプローチにおいて、初めから改革ウェルカムな所属はありません」と下田氏。「既存の仕事のやり方そのままデジタル化しても効果は限定的です。現場や関係者をいかに改革マインドにするか、アプローチには工夫が必要です。丁寧な説明はもちろんですが、私自身、現場に向き現場を見たり、現場の声を聞くなど課題の本質を知る努力もします。

また、小さな成果を積み重ねるアプローチも重要です。目に見える効果が出れば、『自分たちにもできる』というマインドが広がり、DXに味方してくれる人も増えます」と下田氏。DXやデジタルというスマートなイメージがあるかもしれないが、泥臭く地道なプロセスと努力の積み重ねにこそ成功のカギがあるといえそう。

それでも1点、組織のDXを牽引できる人材の育成も忘れてはならない。「行政の情報システム部門職員は、情報セキュリティや情報ネットワーク、

図2 Notesとの連携で生成AIを活用する



ユーザー画面などフロント側を担うNotesと生成AIとの間を、デジタル局のメンバーが開発したAPI連携サーバーでつなぐ仕組み。手本のない状態での開発だった。短期間で稼働にこぎつけた。デジタル局の職員は高い技術スキルを備えており、業務改革のマインドも旺盛だ

各種システムの開発やシステム調達・契約事務など、広範なスキルは必要ですが、プロコードによる開発ができる高度な技術者の育成までは想定していません。ICT×BPRの視点をもって効果的な企画ができる力、円滑に現場と調整する力、専門性の高い情報を咀嚼した上で、周囲に分りやすく伝えることができる力が重要です。デジタル局に優秀な職員が揃っているのは、外部のベンダー任せではなく、できるだけ内製化してきたことも大きいと思います。デジタル局は一般職員向けにNotesアプリ開発やRPAのロボット開発などの実技研修や開発相談窓口、年間を通じて開催しています。そうした内製化に向けた取り組みも私たちデジタル局の重要な役割です」と下田氏は話す。

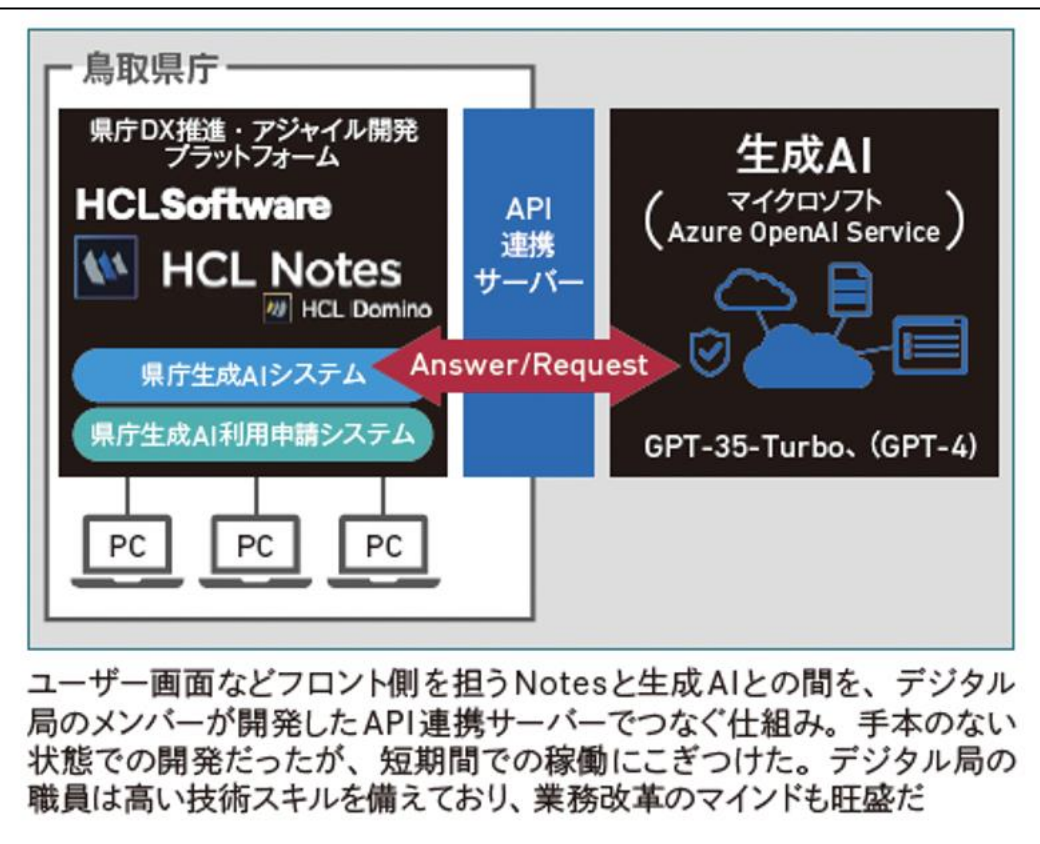
例えば、デジタル局がテンプレートを提供するなどして、各部門の内製化をサポートする。これまでデジタルに馴染みのなかった職員でも、簡単な操作でつくった新サービスが県民の役に立つと実感すれば、その喜びは次の学びのモチベーションになるだろう。鳥取県が取り組むDXは、そんな好循環を描いて加速しつつある。

HCLSoftware
株式会社エイチシーエル・ジャパン
〒107-6032 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル32階 EAST
URL: <https://www.hcljapan.co.jp/software/>

お問い合わせ

「デジタル先進県」がDXで成果を生み出し続けている理由 ポイントはデザイン思考の企画力とアジャイル開発

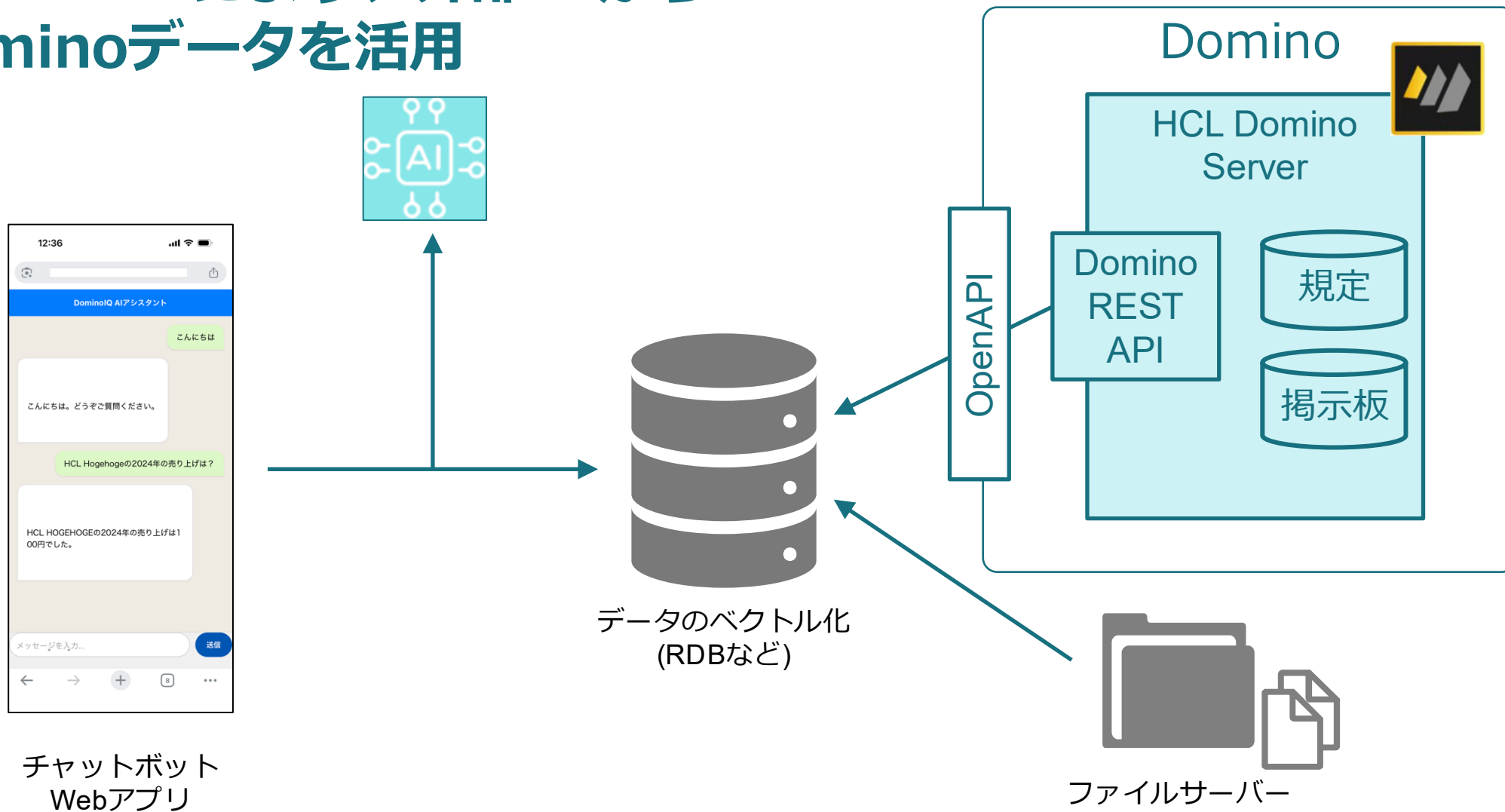
全国の自治体からDXの先進的な取り組みが注目されている鳥取県。同県の取り組みの中でも注目されるのが、システムの多くを内製化していることだ。現場の職員の参画を促す企画力と合わせて、DX実現を目指す一般企業にも参考になる点が多々ある。この内製化を支えているのが、HCLSoftwareの「Notes/Domino」だ。新型コロナウイルス感染症への対応や生成AIの活用などの事例を追いながら、DX成功の要因を探ってみる。



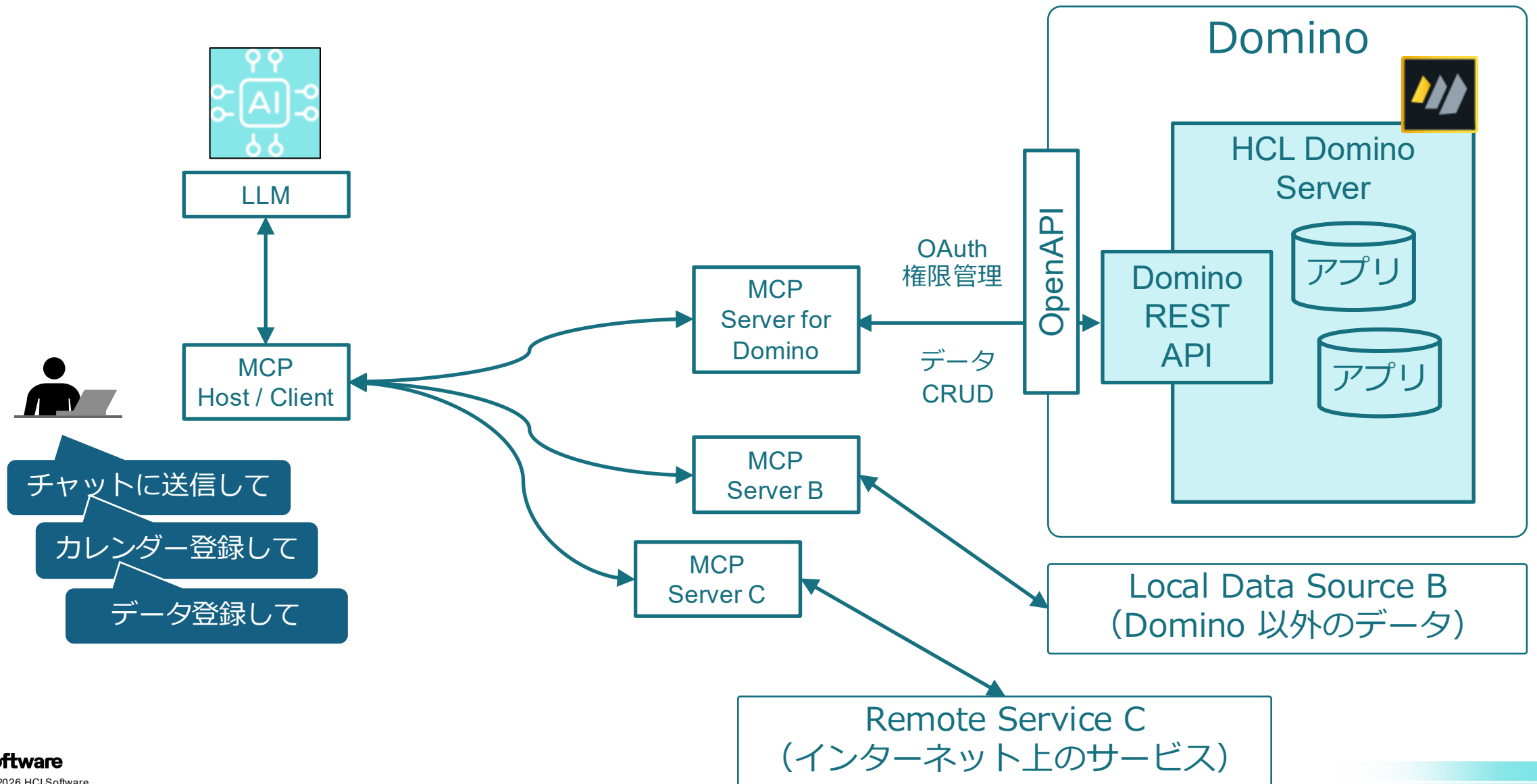
「行政機関として、信用失墜につながるようなことは避けなければなりません。特に、生成AIに入力したプロンプト情報がAI学習に利用され2次利用されるリスクへの対応は、体系的な制御が必要です。また、利用者や利用目的、利用状況を管理し、適切な活用を担保する仕組みも欠かせません」

「Notesを活用することで、ユーザーは普段使い慣れた画面で生成AIの操作ができます。管理者にとっても同様です。利用ユーザーを許可制にするためにアクセス制御を行っています。生成AIとのやり取りはNotes文書として保管することにより、再利用や監査が簡単に行えています」とChatGPTチ

◆ ② REST API により、外部AIから Dominoデータを活用



◆ ③ REST API により、外部AIから（MCP経由などで）リアルタイムにDominoアプリを活用



Domino01 での売り上げ上位の5つの案件を教えて

外部AI
クライアント

以下はDomino01での売り上げ上位5つの案件の詳細です：

案件ID (UNID)	顧客名	営業担当者	確度 (Status)	売り上げ金額 (Amount)
1DCFF30F37CC369049256C720037CC66	チャン・ホン株式会社	落合基	納品済	¥9,700,000
FOD4EC407E62E7E949256C720037CC72	(株) 明神電機	松浦光	契約済	¥9,500,000
34F3204480A0498449258B350005E5D4	ザメンホフ株式会社	伊藤礼央	納品済	¥8,800,000
B81AF5854D8CE6E549256C720037CC67	ツーバイダ株式会社	武石浩	確度50%以下	
C090043F4EFBF16F49256C720037CC5D	クレスケンティア株式会社	伊藤礼央	契約済	

Domino
アプリケーション
(データソース)

追加の情報が必要でしたら、お知らせください！

案件管理 2026 - 入力 - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) ツール(O) ウインドウ(W) ヘルプ(H)

開く 使う ワークスペース 案件管理 2026 - 入力

① 使い方 ② ワークスペース ③ 案件管理 2026 - 入力

新規登録 行追加 ローカルレプリカ作成 ローカルコピー作成

顧客名	ステータス	確度	受注見込み月	見積り金額	担当営業名	ソリューション
チャン・ホン(張衛)株式会社	Win	納品済	2026/12	9,700,000	落合基	Digital Solutions
(株) 明神電機	Win	契約済	2027/1	9,500,000	松浦光	Digital Solutions
ザメンホフ株式会社	Win	納品済	2026/9	8,800,000	伊藤礼央	Digital Solutions
ツーバイダ株式会社	On Progress	確度50%以下	2026/11	7,500,000	武石浩	Digital Solutions
クレスケンティア株式会社	Win	契約済	2026/3	7,000,000	伊藤礼央	DevSecOps
パッカム航空(株)	On Progress	確度50%以下	2026/10	7,000,000	伊藤礼央	Digital Solutions
(株) ロナウド出版	On Progress	確度50-75%	2027/1	6,000,000	松浦光	Digital Solutions
アーガーテ株式会社	Win	確度50-75%	2026/11	5,800,000	武石浩	DX
リバウドシステムズ(株)	On Progress	確度75%以上	2026/12	5,000,000	松浦光	Automation
トッティージャパン(株)	Lost	失注	2026/2	3,000,000	赤松宏佳	Digital Solutions
パティ・ネットワーク(株)	On Progress	確度50%以下	2026/12	3,000,000	赤松宏佳	Digital Solutions
オレンシア株式会社	On Progress	確度50%以下	2027/3	3,000,000	白井修	Digital Solutions
関山運輸株式会社	On Progress	確度75%以上	2026/9	2,000,000	武石浩	Digital Solutions
ニシザワシステム工業(株)	On Progress	確度50%以下	2026/11	1,000,000	松浦光	Marketing & Commerce
(株) 森岡化学工業	On Progress	確度50%以下	2026/12	-1,000	松浦光	Digital Solutions
(株) オーウェン・クリエイツ	Win	請求済	2027/1	-1,000	赤松宏佳	Digital Solutions
ザルリンデ株式会社	On Progress	確度50%以下	2027/1	-10,000	白井修	Digital Solutions
ここを Ctrl キーを押しながらクリックすると、新規文書を作成できます。				78,288,000		

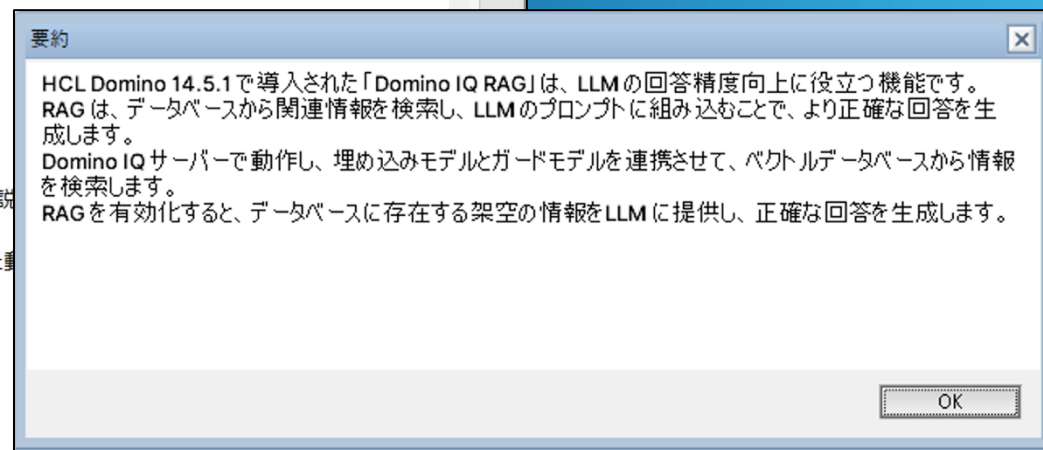
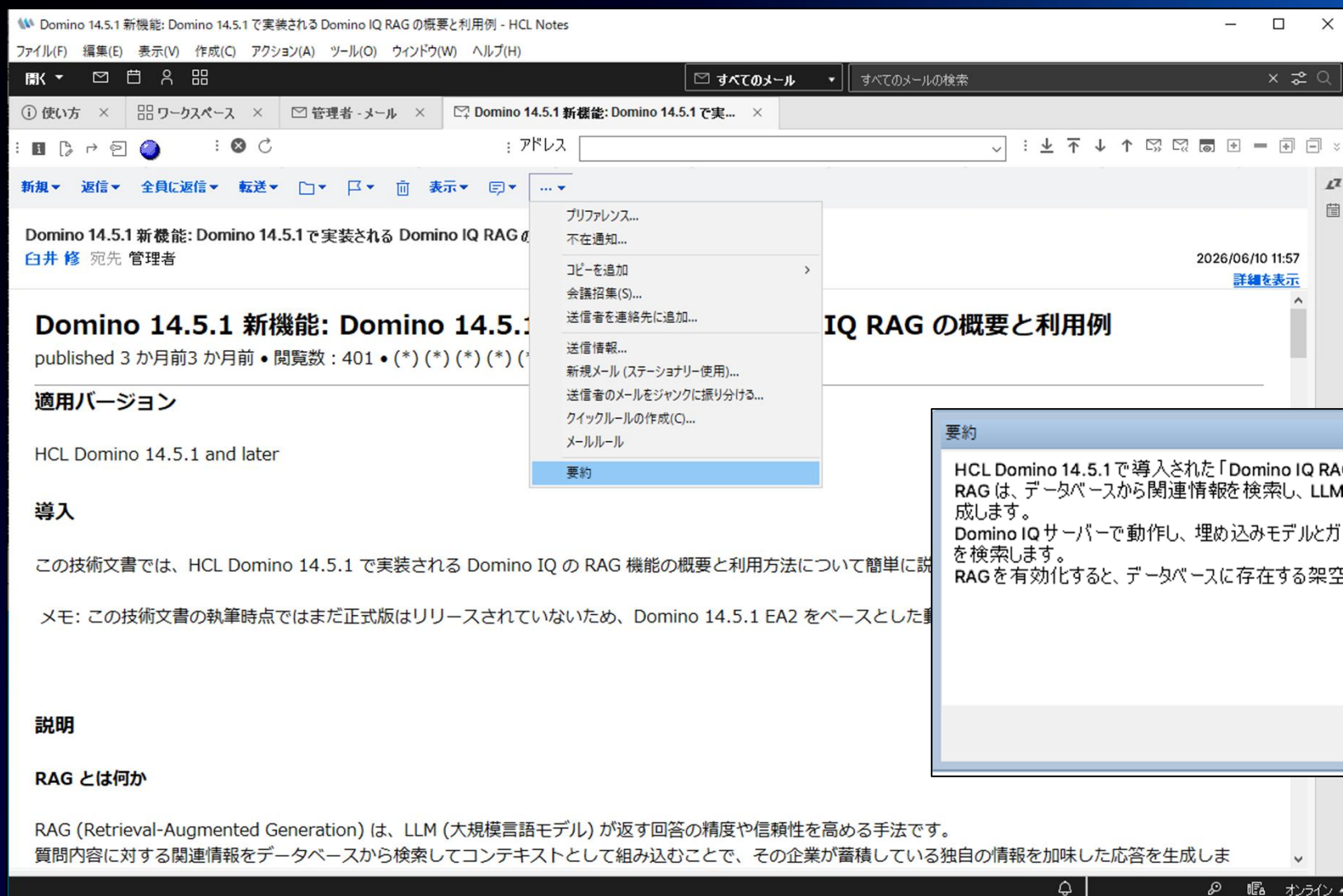
◆ ④ Domino IQ により、Domino内でAIを活用

Domino IQ (Domino 14.5)

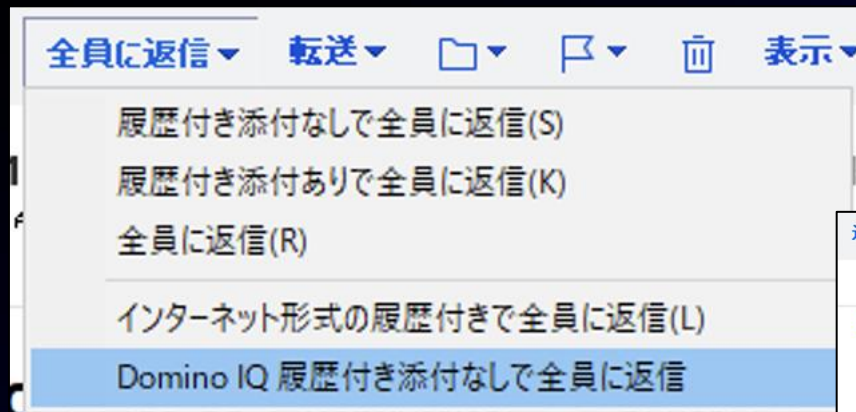
ローカル処理 LLM エンジンを実蔵可能に
カスタマイズ可能な言語モデル
アプリ開発者向けに LotusScript, Java と Rest APIs 提供



Domino IQ による、メールの要約



Domino IQ による、メールの返信文候補の作成



Domino IQ 独自アプリのサンプル 既存アプリのビューの要約

Domino IQ - データ・インサイト

New Domino IQ Request View: By Date

ステータス	実行日時	実行者名	アプリケーション名	ロケーション	ビュー
●	2025/06/13 14:52	Osamu Usui/HCLJapan	案件管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoVdealWF.nsf	Nan Col
●	2025/06/11 10:57	Osamu Usui/HCLJapan	Notesアプリ管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVNotesDBAdmin.nsf	Nan Col
●	2025/06/11 10:34	Osamu Usui/HCLJapan	テクニカルセミナ プロジェクト管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLTJSJ2011.nsf	Nan Col
●	2025/06/09 10:47	Administrator/HCLJapan	ゴルフ同好会掲示板	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVBorad_GLFL.nsf	Nan Col
●	2025/06/09 08:59	Administrator/HCLJapan	Connector LotusScript Extensions Guide	Server: Server01/HCLJapan Path: helpVslxc.nsf	Nan Col
●	2025/06/06 17:07	Administrator/HCLJapan	テクニカルセミナ プロジェクト管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLTJSJ2011.nsf	Nan Col
●	2025/06/06 17:05	Administrator/HCLJapan	Notes操作マニュアル (Basic)	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLN_Manu_85B.nsf	Nan Col
●	2025/06/06 17:01	Administrator/HCLJapan	テクニカルセミナ プロジェクト管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLTJSJ2011.nsf	Nan Col
●	2025/06/05 18:31	Administrator/HCLJapan	Notes操作マニュアル (Basic)	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLN_Manu_85B.nsf	Nan Col
●	2025/06/05 17:22	Administrator/HCLJapan	テクニカルセミナ プロジェクト管理	Server: Server01/HCLJapan Path: demoidVLTJSJ2011.nsf	Nan Col
●	2025/06/05 11:36	Administrator/HCLJapan	全社掲示板	Server: Domino01/HCLJapan Path: DemoDBsVBorad_COP.nsf	Nan Col

HCLSoftware

Powered by HCL Domino

オンライン

対象となるビューの内容を Domino IQが洞察して表示

もともとある Domino アプリ

https://server01.hcljapan.co.jp/nomad/#/notes://Server01/49258CA000E88D4/Launch?OpenFrameset

ファイル 編集 表示 作成 アクション ツール

案件管理 - 入力

顧客名	ステータス	確度	受注見込み月	見積り金額	担当営業名	ソリューション	製品名
(株) 明神電機	Win	契約済	2025/1	9,500,000	松浦光	Digital Solutions	Volt MX Go
④ ツーバード株式会社	On Progress	確度50%以下	2024/11	7,500,000	武石浩	Digital Solutions	Domino
チャン・ホン(張衛)株式会社	Win	納品済	2024/12	9,700,000	落合基	Digital Solutions	Volt MX Go
岡山運輸株式会社	On Progress	確度75%以上	2024/9	2,000,000	武石浩	Digital Solutions	Volt MX
④ (株) ロナウド出版	On Progress	確度50-75%	2025/1	6,000,000	松浦光	Digital Solutions	Domino
アーゲー株式会社	Win	確度50-75%	2024/11	5,800,000	武石浩	Digital Solutions	Volt MX Go
クレスケンティア株式会社	Win	契約済	2025/3	7,000,000	嶋志田喜弘	DevSecOps	AppScan
トッティ・ジャパン (株)	Lost	失注	2024/12	3,000,000	赤松宏佳	Digital Solutions	Connections
リバウドシステムズ (株)	On Progress	確度75%以上	2024/12	5,000,000	松浦光	Automation	AppScan
ベッカム航空 (株)	On Progress	確度50%以下	2024/10	7,000,000	嶋志田喜弘	Digital Solutions	Connections
(株) 森岡化学工業	On Progress	確度50%以下	2024/12	-1,000	松浦光	Digital Solutions	Sametime
④ デルリンデ株式会社	On Progress	確度50%以下	2025/1	-10,000	白井修	Digital Solutions	Volt MX
パティ・ネットワーク (株)	On Progress	確度50%以下	2024/12	3,000,000	赤松宏佳	Digital Solutions	Sametime
オレンジア株式会社	On Progress	確度50%以下	2025/3	3,000,000	白井修	Digital Solutions	Domino
ニシザワシステム工業 (株)	On Progress	確度50%以下	2024/11	1,000,000	松浦光	Marketing & Commerce	Unica
④ (株) オーウェン・クリエイツ	Win	請求済	2025/1	-1,000	赤松宏佳	Digital Solutions	Domino
ザメンホフ株式会社	Win	納品済	2024/9	8,800,000	嶋志田喜弘	Digital Solutions	Domino
				78,288,000			

Domino IQ 独自アプリのサンプル

既存アプリのビューの要約

HCL Nomad開くファイル編集表示作成アクションツール

ホームワークスペースDomino IQ - データ・インサイトSimple DominoIQ App

Domino IQ - データ・インサイト

New Domino IQ RequestView: By Date

ステータス	実行日時	実行者名	アプリケーション名	ロケーション
●	2026/02/13 17:51	Administrator/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理copy	Server: Domino01/HCL Japan Path: DemoDBs\LT.SJ2011co
●	2026/02/12 10:50	Osamu Usui/HCL Japan	設定Memo	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVSettingMemo.ns
●	2025/10/31 13:56	Administrator/HCL Japan	deal2025	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVdeal2025.nsf
●	2025/07/18 17:18	Administrator/HCL Japan	2018 インフラ研	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVDiscuss.nsf
●	2025/07/18 17:13	Administrator/HCL Japan	設定Memo	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVSettingMemo.ns
●	2025/07/11 11:34	Osamu Usui/HCL Japan	人事課 タスク管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVTASKADMN
●	2025/07/11 10:41	Administrator/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVLT.SJ2011.nsf
●	2025/07/11 10:05	Administrator/HCL Japan	案件管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoVdealWF.nsf
●	2025/06/13 15:02	Osamu Usui/HCL Japan	案件管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoVdealWF.nsf
●	2025/06/11 10:57	Osamu Usui/HCL Japan	Notesアプリ管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVNotesDBAd
●	2025/06/11 10:34	Osamu Usui/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVLT.SJ2011.nsf

Domino IQ Result

Domino IQ による洞察:

要約: IBM Notes/Domino と Azure/Watson 連携に関する調査記録

この文書は、2018年から2019年にかけて行われた一連の研究会議や議論の記録です。主な内容は、**IBM Notes/Domino を Microsoft Azure や IBM Watson などの最新技術と連携させる**ための調査と検証に関するものです。

具体的には、以下のテーマが扱われています。

***Azure連携:** Azure Active Directory (Azure AD) を利用したシングルサインオン (SSO)、Azureサービスの活用、Azureの料金体系の検討

***Watson連携:** Watsonの自然言語処理機能 (NLC, Conversation) をNotes/DominoやNode-REDと連携

***Node-RED:** 様々なサービスを接続するためのミドルウェアとしてのNode-REDの活用

***Domino REST API:** Domino REST API を利用した連携

HCLSoftware

HCL Nomad開くファイル編集表示作成アクションツール

ホームワークスペースDomino IQ - データ・インサイトSimple DominoIQ App

Domino IQ - データ・インサイト

New Domino IQ RequestView: By Date

ステータス	実行日時	実行者名	アプリケーション名	ロケーション	ビュー
●	2026/05/21 11:12	Administrator/HCL Japan	案件管理	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVdealWF.nsf	Nan Col
●	2026/02/13 17:51	Administrator/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理copy	Server: Domino01/HCL Japan Path: DemoDBs\LT.SJ2011co	Nan Col
●	2026/02/12 10:50	Osamu Usui/HCL Japan	設定Memo	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVSettingMemo.ns	Nan Col
●	2025/10/31 13:56	Administrator/HCL Japan	deal2025	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVdeal2025.nsf	Nan Col
●	2025/07/18 17:18	Administrator/HCL Japan	2018 インフラ研	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVDiscuss.nsf	Nan Col
●	2025/07/18 17:13	Administrator/HCL Japan	設定Memo	Server: Domino01/HCL Japan Path: demoVSettingMemo.ns	Nan Col
●	2025/07/11 11:34	Osamu Usui/HCL Japan	人事課 タスク管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVTASKADMN	Nan Col
●	2025/07/11 10:41	Administrator/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVLT.SJ2011.nsf	Nan Col
●	2025/07/11 10:05	Administrator/HCL Japan	案件管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoVdealWF.nsf	Nan Col
●	2025/06/13 15:02	Osamu Usui/HCL Japan	案件管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoVdealWF.nsf	Nan Col
●	2025/06/11 10:57	Osamu Usui/HCL Japan	Notesアプリ管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVNotesDBAd	Nan Col
●	2025/06/11 10:34	Osamu Usui/HCL Japan	テクニカルセミナープロジェクト管理	Server: Server01/HCL Japan Path: demoidVLT.SJ2011.nsf	Nan Col

Domino IQ Result

ステータス Complete

Created by Osamu Usui/HCL Japan on 2025/07/11 11:34:25

Domino IQ による洞察:

要約: 採用・オンボーディング進捗状況

このデータは、**古田美亜 (Furuta Mia) と大和田洋介 (Ohwada Yo-suke) の採用・オンボーディングプロセスにおけるタスクの進捗状況**を示しています。

内容は、**求人票の見直し、求人広告の掲載、応募受付、面接、オファー、そして入社後の歓迎イベント、入社準備、オリエンテーション、研修、最終配置**といった一連の作業をリスト化しており、各タスクの担当者と完了日、完了者が記録されています。

現時点では、古田美亜は求人票の見直しのみ完了しており、**大和田洋介は全てのタスクが未完了**です。両者のプロセスは同一内容となっています。

つまり、これは新入社員の採用とスムーズな職場への統合を目的とした、担当者と進捗状況を管理するためのリストです。

Runtime Statistics
0 seconds to get the Target db, selected View and Column information
0 seconds to construct the CSV data

HCLSoftware

Powered by HCL Domino

Domino IQ (Domino 14.5.1)

- Domino IQ サーバーの RAG と Guard Modelをサポート
- Domino データベースを RAG ソース データベースとして使用可能に
- 対象のアプリケーションとフィールド名を指定
- LLM推論エンジンに送られるプロンプトの追加コンテキストとして送信



Domino IQ による、NSFに保存されたデータを参考とした質問回答

RAGを使わない場合：

HCL Domino

Basic Advanced

Domino IQ

サーバー: Server01/HCLJapan [Manager]

Response time: 121063 msec

LLM model: Llama3-ELYZA-JP

Command: 回答

Description: 回答 - HCL HOGEHOGEの売り上げは？

Role: assistant

結果: HCL HOGEHOGEの売り上げに関する情報は、非公開のため一般に公開されていません。

クエリー: HCL HOGEHOGEの売り上げは？

(ここに入力して RunOnServer Rを実行)

RAGを
使っていない場合の
一般的な回答

「HCL HOGEHOGEの売り上げは？」
架空の 商品・会社名の質問

Domino内 のデータを
RAG として活用した場合：

HCL Domino

Basic Advanced

Domino IQ

サーバー: Server01/HCLJapan [Manager]

Response time: 30456 msec

LLM model: Llama3-ELYZA-JP

Command: ディスカッションRAG

Description: ディスカッションRAG - HCL HOGEHOGEの2023年の売り上げ

Role: assistant

結果: HCL HOGEHOGE の2023年の売り上げは、50円です。

クエリー: HCL HOGEHOGE の 2023年の売り上げは？

Command: ディスカッションRAG

Description: ディスカッションRAG - HCL HOGEHOGEの売り上げは？

Role: assistant

結果: HCL HOGEHOGE の売り上げは、2023年が50円、2024年が100円、2025年が200円です。

クエリー: HCL HOGEHOGE の 売り上げは？

RAGを設定した
プロンプトによる
回答

Domino IQ が参考とするRAG ソースデータ

🔍 📄 📁 📧 📧 🔄

ディスカッション

ディスカッション

すべての文書

作成者別

ユーザー名の別名別

カテゴリ別

作成者プロフィール

個人フォルダ

個人キーワードプロフィール

作成者プロフィール作成

新規メイントピック作成 返答 作成者とチャット

ビュー すべての文書 の検索

検索

日付 トピック

2026/04/03

Adr

HCL HOGEHOGE の2023年の利益 (Administrator [管理者])

2026/04/03

Adr

HCL HOGEHOGE の2023年の売り上げ (Administrator [管理者])

2026/04/03

Adr

HCL HOGEHOGE の2024年の売り上げ (Administrator [管理者])

2026/04/03

Adr

HCL HOGEHOGE の2025年の売り上げ (Administrator [管理者])

🔍 📄 📁 📧 📧 🔄

編集モード 返答 作成者とチャット キャンセル

ディスカッション

メイントピック

Administrator/HCLJapan

2026/04/03 11:37

件名: HCL HOGEHOGE の2023年の売り上げ

カテゴリ:

HCL HOGEHOGE の2023年の売り上げは 50円でした。

回答作成の
ソースデータとなる
保存された文字

DominoIQ AIアシスタント

こんにちは

こんにちは。どうぞご質問ください。

HCL HogeHoge の売り上げは？

申し訳ありませんが、提供された情報にはHCL HogeHogeの最新の売り上げ状況についての詳細が含まれていません。したがって、お答えできません。

HCL HOGEHOGE の2024年の売り上げは？

HCL HOGEHOGEの2024年の売り上げは100円でした。

利益は？

HCL HOGEHOGEの2024年の利益は-150円でした。

2023年の利益は？

HCL HOGEHOGEの2023年の利益は20円でした。

メッセージを入力...

送信

Domino IQ による、NSF に保存されたデータを参考とした 質問回答のサンプル

☒ 保存して閉じる ☐ キャンセル 要約の生成

Policy

Policy #	21																
Title	年次有給休暇																
Purpose	従業員が家族旅行や休息・療養などの理由で休暇を取得できるようにするため。																
Scope	対象となるすべての正社員																
Procedure	従業員には、年初に年間有給休暇が付与され、以下に示すように勤続年数に応じて付与日数が増加します。 <table><thead><tr><th>勤続年数</th><th>有給休暇日数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1年目</td><td>12日間</td></tr><tr><td>2年目</td><td>13日間</td></tr><tr><td>3年目</td><td>14日間</td></tr><tr><td>4年目</td><td>16日間</td></tr><tr><td>5年目</td><td>18日間</td></tr><tr><td>6年目</td><td>20日間</td></tr><tr><td>7年目以降</td><td>20日間</td></tr></tbody></table> 	勤続年数	有給休暇日数	1年目	12日間	2年目	13日間	3年目	14日間	4年目	16日間	5年目	18日間	6年目	20日間	7年目以降	20日間
勤続年数	有給休暇日数																
1年目	12日間																
2年目	13日間																
3年目	14日間																
4年目	16日間																
5年目	18日間																
6年目	20日間																
7年目以降	20日間																
Enforcement	有給休暇の申請を悪用したり、虚偽の申請を行ったりした場合は、懲戒処分の対象となる可能性があります																

回答作成の
ソースデータとなる
保存された文字

Policy Hubに質問 x

質問：

有給休暇日数について詳しく教えてください。

回答：

有給休暇日数について、以下のことがわかります。

* 年初に付与されます。

* 勤続年数に応じて付与日数が増加します。

* 具体的には、勤続年数が1年目は12日間、2年目は13日間、3年目は14日間、4年目は16日間、5年目は18日間、6年目は20日間、7年目以降は20日間です。

RAGを設定した
プロンプトによる
回答

質問する

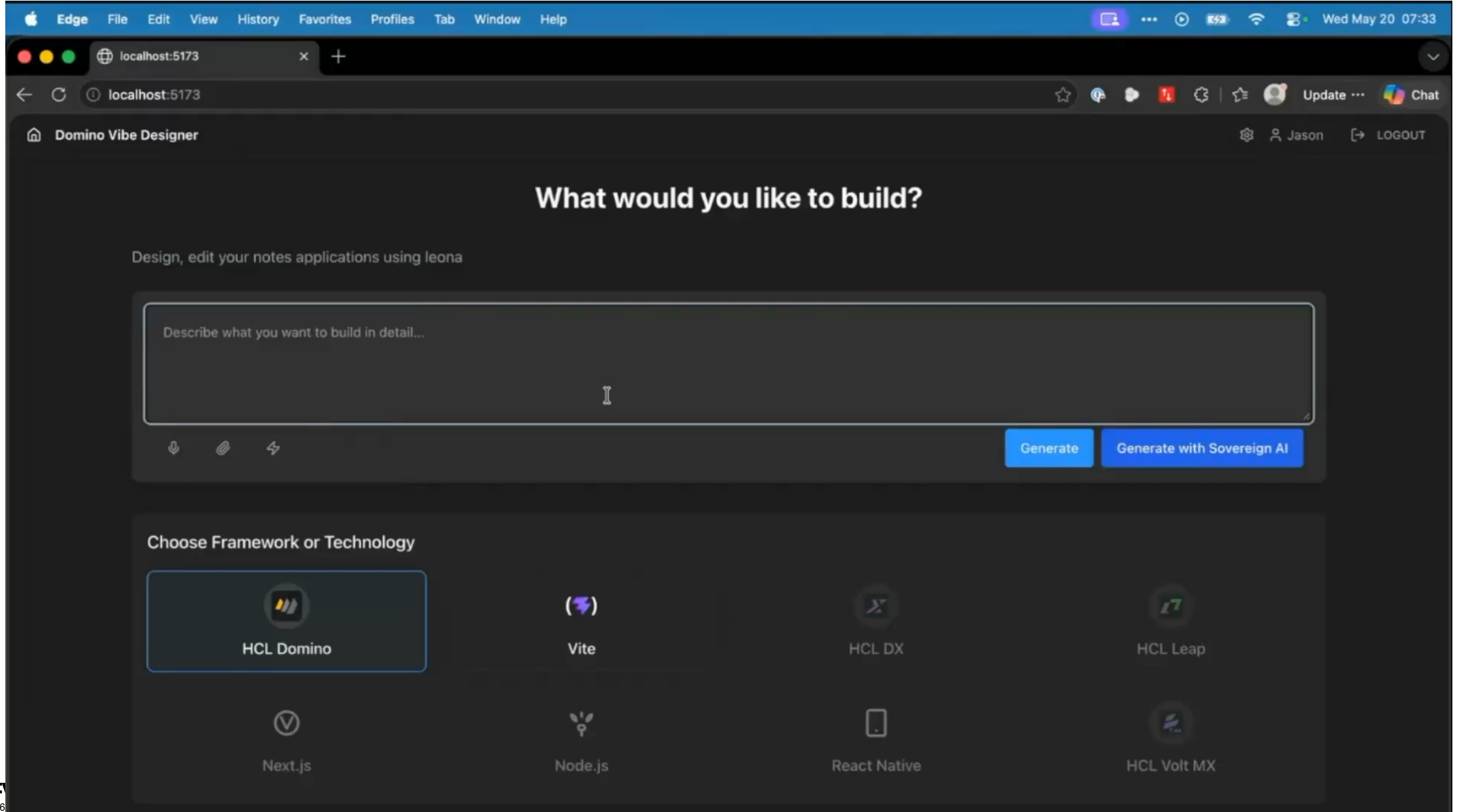
クリア

クリップボードにコピー

回答をメールで転送

HCLSoftware

⑤ AI によるDomino アプリ開発（将来像）



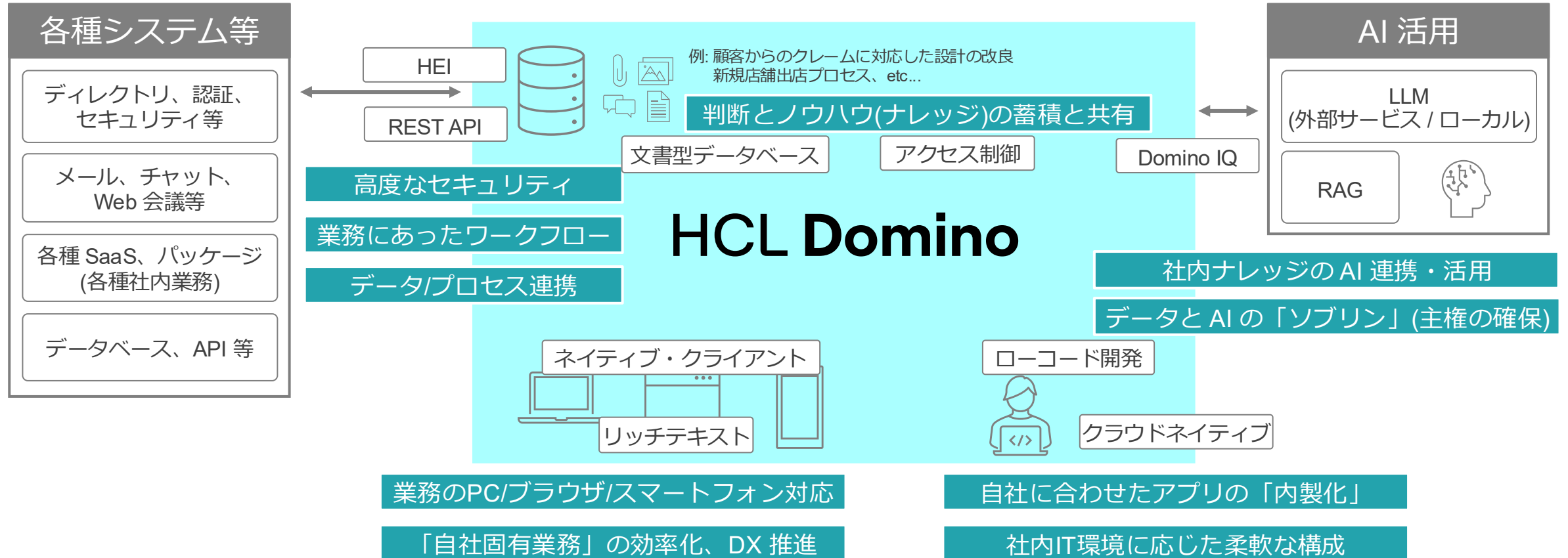
HCLSoftware

HCL Domino と AI

- ① Notes をインターフェイスに生成AIを活用
- ② REST API により、外部AIから Dominoデータを活用
- ③ REST API により、外部AIからリアルタイムにDominoアプリを活用
- ④ Domino IQ により、Domino内でAIを活用
- ⑤ AI によるDomino アプリ開発（将来像）



◆ HCL Domino で「自社固有の業務」のDXを実現し競争力に変革



HCLSoftware

hcl-software.com